

## 6/5 開拓を支えた馬たちに感謝 入江・大磯馬頭観世音碑建立記念事業

**江** 戸幕府の官営牧場創業期の事情や馬産史の歴史を知る上で欠かせない貴重な歴史資料として北海道や町の文化財指定を受けている入江地区と大磯地区の馬頭観世音碑を保護・活用し、後世につなぐため、町が記念事業を行いました。

事業には、下道町長をはじめ馬頭観世音碑の保全などに携わった関係者が出席。虻田地区の開拓を支えた馬たちに感謝を捧げ、碑に手を合わせました。



大磯馬頭観世音碑に手を合わせる出席者

## 4/23~6/5 特別展の来館者数過去最高を更新 芸術館春特別展 吉田卓矢展

**洞** 爺湖芸術館の春特別展「吉田卓矢展 いきものたちが宿る帆布(カンヴァス)」の来館者数が1,759人となり、2019年春特別展の1,176人を大幅に超える過去最高を更新しました。

今回の特別展は、4月23日(6月5日まで開催され、牧歌的な自然風景や本来そこにはないはずのいきものたちが鮮やかな色彩で描かれた作品を展示、訪れる来館者を魅了していました。



特別展の作品を鑑賞する来館者

## 6/7 洞爺湖の環境や生態系に興味を ヒメマスとヤマメの稚魚放流

**洞** 爺湖の環境や生態系に興味を持ってもらうため、洞爺湖漁業協同組合(篠原功組合長)の協力でヒメマスとヤマメの稚魚の放流を行いました。

当日はとうや小学校の2年生と洞爺湖温泉小学校1、2年生約30人の児童がそれぞれ学校近くの湖畔で実施、両校合わせて1万匹の稚魚を放流しました。

子どもたちは「いつてらっしゃい」、「大きくなって帰ってきてね」と声をかけながら笑顔で見送りました。



ヒメマスの稚魚を放流する子どもたち

## 6/6 瑞宝単光章を受章 熊澤俊彦さん叙勲報告

**瑞** 宝単光章(防衛功労)を受章した熊澤俊彦さん(青2区)が、町に叙勲を報告しました。熊澤さんは1979年3月、陸上自衛隊に入隊、同年9月に名寄駐屯地に配属されました。北部方面の総監部付隊の配属となつてからは予算や人事関連の仕事を担当し、2014年7月に定年退職しました。

熊澤さんは「自衛官の誇りを持って勤務してきました。家族に感謝したいです」と喜びを語りました。



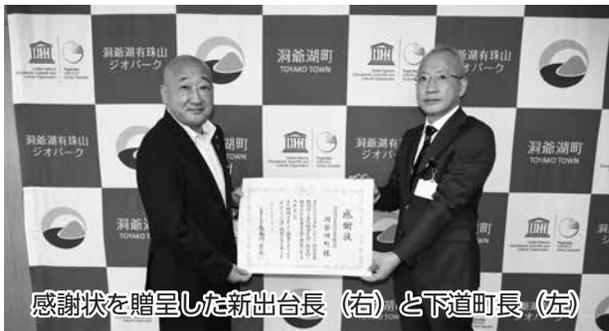
下道町長(左)に叙勲を報告した熊澤さん(右)

## 6/7 観測業務に長年協力 気象庁長官表彰伝達

**室** 蘭地方気象台が、地域気象観測所の管理を行っている町に対し、気象庁長官表彰感謝状を伝達しました。

町では1978年12月、洞爺湖温泉に雨量観測所が設置されました。2000年に有珠山噴火記念公園に移設され、町が管理業務を受託しています。

役場を訪れた新出祥文台長が表彰状を下道英明町長に伝達し「長年の協力に感謝します。今後とも連携していきたいです」と話しました。



感謝状を贈呈した新出台長（右）と下道町長（左）

## 6/7 地域のためにボランティア 虻田高校生が足湯を清掃

**虻** 田高校（千葉佳貴校長）の1年生21人が洞爺湖温泉にある足湯の清掃を行いました。

この活動は、地域資源を活用した観光施設である手湯や足湯の清掃を通して、地元の基幹産業の活性化や地域貢献を考えることを目的に実施しています。

当日は、洞龍の湯、薬師の湯の2班に分かれ、デッキブラシやたわしで浴槽をこすったり、座席やてすりを雑巾で拭いたりして汚れを落としました。



丁寧に足湯を清掃する生徒たち

## 6/26 NPO 法人北海道海浜美化をすすめる会 洞爺湖町海浜美化キャンペーン実施

**N** PO 法人北海道海浜美化をすすめる会（水崎呈会長）が洞爺湖町海浜美化キャンペーンを実施しました。

同会は「海、いのちの故郷」をテーマに北海道の海辺を日本一きれいにするため、年に5、6回、道内のさまざまな海浜地などで地元住民団体や行政と協力し清掃活動を行っています。

当日は同会会員や札幌国際大学、札幌学院大学の学生など約40人が参加、入江地区の砂浜のゴミを拾いました。



砂浜のゴミを拾う参加者

## 6/22・28・29 人を思いやる気持ちを大切に 人権の花運動実施

**花** を育てることで、命の大切さや人への思いやりなど人権尊重の精神を身につけてもらうことを目的に人権の花運動を実施しました。

22日に虻田小学校（小野島晶校長）で花苗の贈呈式が行われ、3年生23人が苗を受け取り花壇に移植しました。子どもたちは「花植えは楽しかった」「みんな協力して花を育てたい」と話しました。また、28日には洞爺湖温泉、29日にはとうや小学校でも同運動が行われました。



花壇に花の苗を植える子どもたち